

かび毒に関する調査研究進捗状況

○アフラトキシン M1¹ (AFM1)

1. 調査研究の状況

①平成 13 年度

- ・国産牛乳の汚染実態調査
(2001 年の JECFA による毒性評価結果を受けて)

②平成 15 年度

- ・国産生乳の汚染実態調査
(飼料中のアフラトキシン B1 汚染の汚染頻度増加を受けて、飼料中のアフラトキシン B1 汚染が与える影響を考察)

③平成 19 年度

- ・チーズ、バター中の AFM1 の分析法の確立および加工品への AFM1 の移行に関する文献調査

④平成 20 年度

- ・輸入乳製品の汚染実態調査
- ・モデル製品での加工品への AFM1 移行調査 (生乳→チーズ)

2. 今後の予定

平成 20 年度の調査結果がとりまとめ次第、乳及び乳製品中の AFM1 について、食品規格部会、乳肉水産食品部会での審議を経て、食品安全委員会へ食品健康影響評価依頼を行う予定。

○デオキシニバレノール (DON) 及びニバレノール (NIV)

1. 調査研究の状況

①平成 16～18 年

- ・実験動物を用いた NIV の毒性実験 (ラットの 90 日間反復投与毒性試験)
- ・小麦摂取による DON の暴露量推定

②平成 19～21 年度

- ・国産小麦中の DON/NIV の共汚染実態調査と加工による減衰に関する研究
- ・トリコテセン系マイコトキシンの毒性評価の生物学的アプローチに関する研究 (DON/NIV の複合毒性に関する研究)

¹ アフラトキシン B1 の代謝物

- ・実験動物を用いた NIV 誘発 IgA 腎症モデルによる NIV の毒性影響及び評価・予防に関する研究
 - ・国産小麦摂取による NIV の暴露量推定
- 等

2. 今後の予定

調査研究結果がとりまとめ次第、小麦等の DON 及び NIV について、食品規格部会での審議を経て、食品安全委員会へ食品健康影響評価依頼を行う予定。

○オクラトキシンA

1. 調査研究の状況

①平成 16～18 年度

- ・毒性評価資料の収集
- ・汚染実態調査（基礎調査）

②平成 19～21 年度

- ・汚染実態調査（詳細調査）
- ・発がん性機序の動物実験系による解析など、毒性に関する研究
- ・暴露評価

等

2. 今後の予定

調査研究結果がとりまとめ次第、今後の対応について検討を行う予定。

○フモニシン

1. 調査研究の状況

①平成 16～18 年度

- ・毒性評価資料の収集
- ・汚染実態調査（基礎調査）

②平成 19～21 年度

- ・汚染実態調査（詳細調査）
- ・新生児ラットへのフモニシン暴露の薬物代謝機能に及ぼす影響など、毒性に関する研究
- ・暴露評価

等

2. 今後の予定

調査研究結果がとりまとめ次第、今後の対応について検討を行う予定。